



芝山小だより

9月号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

オリンピック・パラリンピックから学ぶこと

校長 寺井 俊敬

本日より、2学期がスタートし、学校には子供たちの声が戻ってきました。

今年の夏も、熱中症警戒アラートが発出される暑い日が続きました。また暑さだけでなく、各地で台風や大雨による被害、九州地方、関東地方等各地で地震による被害が報道されていました。お子様たちは、元気に過ごせたでしょうか。様々な感染症、熱中症、災害等に気を付けながら、2学期のスタートです。

1学期末の学校だよりでもお伝えしましたが、パリオリンピックが7月26日～8月11日に行われ、8月29日からはパラリンピックが行われています。

オリンピックでは、開催国ではない大会で過去最高の金メダル数、メダル獲得数がニュースで報じられた一方、残念ながらメダルには届かなかった選手、このオリンピックを機に引退する選手もいました。

だいたいどの競技も、競技後にはインタビューの時間がありました。インタビューの中で、多くの選手の皆さんから「感謝の言葉」が多かったように思います。自分は、テレビ画面で応援することしかできませんでしたが、選手の皆さんから努力することの大切さ、感謝の気持ちをもつこと、何よりオリンピックという場に出場することを夢見て競技に取り組んできたことの大切さを感じることができました。選手の皆さんがオリンピックで活躍する姿を見られたこと、本当に良かったと思います。

きっと、子供たちも、オリンピックを各ご家庭においてニュース等で見る機会があったかと思います。そして、オリンピックを見て、学んだこと、感じたことがあったのではないのでしょうか。

ニュースでは「金メダルに恋した14歳」の実況のもと、スケートボードで金メダルを獲得した吉沢恋選手を見て、スケートボードを始めた子供たちもいると報じていました。他にも、フェンシング、ボルダリング等のオリンピック競技を見て、その競技を始めたというニュースも見ました。オリンピック選手の影響はすごいと感じました。

オリンピックを見て、芝山小学校の子供たちの中にも、新しくスポーツを始めたいと思った人もいるかもしれません。野球、サッカー、バスケットボール、水泳等、今行っているスポーツをさらに高めていこうと思った子供たちもいるかもしれません。もちろんスポーツだけでなく、今取り組んでいることを極めていこうと思った子供たちもいることでしょう。オリンピックを見て、選手たちの頑張りが、子供たちの心に残ったのなら嬉しい限りです。

さらに、パラリンピックが29日から始まりました。可能な限り、画面越しではありますが、応援していきたいと思います。子供たちにも、障害を乗り越え、競技に打ち込むパラリンピック選手からも、目標に向かって努力する大切さ、夢や希望をもつことの大切さ等、何かを感じ取ってほしいと思っています。現在行われているパラリンピックの選手の皆さんの活躍を期待しています。

2学期は、運動会、音楽会、遠足・社会科見学等校外学習があります。学期の初め、子供たちは学習や生活の目標を決め、目標達成に向けて頑張っていきます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今学期も、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。